

微生物学Ⅱ Microbiology II

基礎科目 2年/後期 1.5単位 必修科目

科目責任者 杉田 隆(微生物学研究室)

■教育目的

感染症の病態、予防法および治療法を理解し考えられるようになるために、病原微生物学各論として主な感染症の原因となる細菌およびウイルスの特徴についての基礎を修得する。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、SD-②】

■学習到達目標

1. 代表的な病原細菌の性状とそれが引き起こす感染症を説明できる。
2. 代表的な病原ウイルスの性状とそれが引き起こす感染症を説明できる。
3. 代表的な真菌症について説明できる。
4. 日和見感染と院内感染の原因菌と発症要因について説明できる。

■準備学習（予習・復習）

予習：感染症とその原因微生物について、日頃から関心をもち予備知識を得ることを心がける。次回講義内容に該当する教科書ページに目を通しておく（20分以上）。

復習：教科書、講義資料などを見直して知識を整理し理解を深める（30分以上）。

■授業形態

講義

■授業内容

代表的な細菌、真菌やウイルスが引き起こす疾患、日和見感染と院内感染の原因菌と発症要因について講義する。

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	グラム陰性細菌	大腸菌、赤痢菌、サルモネラ属など	C8(4)-②-4
2	グラム陰性細菌	ビブリオ属、ヘモフィルス属など	C8(4)-②-4
3	グラム陰性細菌	シュードモナス属、レジオネラ属など	C8(4)-②-4
4	グラム陰性細菌	バクテロイデス属、ナイセリア属など	C8(4)-②-4
5	グラム陽性細菌	ブドウ球菌、レンサ球菌など	C8(4)-②-3
6	アクチノマイセス門細菌、グラム陰性らせん菌	アクチノマイセス属、コリネバクテリウム属、結核菌、ヘリコバクター、スピロヘーターなど	C8(4)-②-3,5,6
7	マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア	マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアなど	C8(4)-②-7
8	DNA ウイルス	ヘルペスウイルス、パピローマウイルスなど	C8(4)-②-1
9	RNA ウイルス (1)	ポリオウイルス、麻疹ウイルス、風疹ウイルス、インフルエンザウイルスなど	C8(4)-②-2
10	RNA ウイルス (2)	HIV、HTLV など	C8(4)-②-2
11	肝炎ウイルス	A, B, C, D, E 型肝炎ウイルスなど	C8(4)-②-1,2
12	抗ウイルス薬	抗ヘルペスウイルス薬、抗インフルエンザ薬、抗 HIV 薬など	E2(7)-④-1,2,3,4,5
13	真菌症	アスペルギルス症、カンジダ症など	C8(4)-②-8, E2(7)-⑤-1
14	日和見感染と院内感染	日和見感染と院内感染の原因菌と発症要因	C8(4)-①-2
15	まとめ	後期の講義内容を総合的に復習する	

■授業分担者

A・B・C組 松本 靖彦(No.6,7,13～15)、杉田 隆(No.1～5、15)、森田 雄二(No.8～12,15)

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

期末試験の成績（100%）で評価する。

■教科書

『第7版 薬科微生物学』安齊洋次郎、杉田隆 編（丸善株式会社）（2021年4月発刊予定）

■ 参考書

『戸田新細菌学 改訂第 34 版』 吉田 眞一・柳 雄介・吉開 泰信 編 (南山堂)

『医科ウイルス学 改訂第 3 版』 大里 外誉郎 編 (南江堂)